

つながる絆、輝く未来へ合併20周年

問合せ 秘書課(内線2012)

平成17年10月に鴻巣市・吹上町・川里町が合併し、新しい鴻巣市となりました。
今年、合併から20周年を迎える節目の年です。
合併からの歩みを振り返ることは、未来を考えるきっかけでもあります。この特集では、
20年間のまちづくりや市民の皆さんの声を通じて、これからのまちを考えていきます。



合併 20 年の歩み

2005 10月 … 鴻巣市、吹上町、川里町が合併 **1**
(平成17年)

2006 4月 … 福島県金山町と友好都市の協定締結
(平成18年)

2007 5月 … 花と音楽の館かわさと「花久の里」オープン
(平成19年) 10月 … 鴻巣駅東口駅前広場と
エルミこうのすショッピングモールオープン

2008 2月 … 荒川河川敷が「川幅日本一」として認定 **2**
(平成20年)

2009 8月 … ご当地グルメ「こうのす
(平成21年) 川幅うどん」誕生 **3**

2010 5月 … 工業団地通線開通
(平成22年)

2011 3月 … 赤物製作技術が国の重要
(平成23年) 無形民俗文化財に指定 **4**
5月 … 第1回こうのす
花まつりを開催 **5**

2012 2月 … 産業観光館「ひなの里」オープン
(平成24年) 10月 … 「市民の日」制定記念式典

2013 4月 … 市民活動センターオープン
(平成25年) 7月 … こうのすシネマオープン

2014 1月 … かわさと館オープン **6**
(平成26年) 10月 … こうのす花火大会「正四尺玉」ギネス世界記録認定
12月 … コスモスふきあげ館オープン **7**





12



11

2023
(令和 5 年)

4月 … こうのす乗合タクシー
(乗合型デマンド交通)
本運行開始⁹

5月 … 「SDGs未来都市」に選定¹¹

6月 … 大間近隣公園
「大間見晴らしの丘」
オープン

2024
(令和 6 年)

4月 … こども家庭センター
「ここの巣」設置

5月 … 「こどもまんなか
応援サポーター」を宣言¹²

7月 … SDGs未来会議を開催

8月 … こども誰でも通園制度
(試行的事業)開始

2025
(令和 7 年)

1月 … こうのと里SDGsフェスティ
バルを開催

4月 … 鴻巣市こどもの権利条例
を施行

5月 … 大阪・関西万博「地方創生
SDGsフェス」に出展

10月 … コウノトリを
市の鳥に制定¹³



13



8

2015
(平成27年)

1月 … 市役所新館オープン⁸

2016
(平成28年)

5月 … 未来議会で「のすっ子宣言」採択

2017
(平成29年)

1月 … 市役所本庁舎改修工事
完了⁸

2018
(平成30年)

6月 … デマンド交通実証運行開始

2019
(平成31年)

4月 … 保育ステーション開設

2020
(令和 2 年)

2月 … 北新宿生涯学習センター
オープン

4月 … 18歳までのこども医療費完全
無料化
ひなちゃんタクシー(デマンド
交通)本運行開始
こうのす乗合タクシー(乗合型
デマンド交通)実証運行開始⁹

2021
(令和 3 年)

4月 … 新市章制定

10月 … コウノトリ野生復帰センターにて
コウノトリ2羽(空・花)の飼育開始¹³



2022
(令和 4 年)

4月 … にぎわい交流館「にこのす」
オープン

10月 … 移動販売(移動スーパー)
開始¹⁰



10



9

合併から20年 これからの鴻巣を考える

皆さんはこの20年をどのように過ごしてきたでしょうか。

市民の皆さんにこれまでの鴻巣市の思い出と鴻巣市の未来について伺いました。

若者の夢を応援する鴻巣市に

私たちは、合併後の鴻巣市と同じく、今年二十歳の節目を迎えます。鴻巣市は、災害や犯罪が少なく感じられ、幼いころから安心して暮らしてきました。花火大会やびっくりひな祭り、免許センターへのアクセスの良さなど、鴻巣市には市外の友達に自慢できることがたくさんあります。

これからの未来を担う、若者の夢を応援してくれる鴻巣市になってくれると嬉しいです。



二十歳のつどい実行委員会
委員長・副委員長の皆さん



小坂友希乃さん・ゆじん君

地域に見守られながら子育て

鴻巣市に住んでいて嬉しく感じることは、地域の中で自然に声を掛け合えるつながりがあることです。子どものことを気軽に話せたり、家の前で声を掛けてもらえたり、一人で抱え込まずに子育てができます。以前、吹上支所で「子どもが笑っているのは、お母さんが笑っているからだよ」と地域の方に声を掛けていただいたときは、本当に嬉しかったです。

地域全体に見守られながら子どもを育てることができる、この安心感がこれからも続いてほしいと思います。

郷土愛を大事にしたまちづくり

約40年前に鴻巣市に引っ越してきて以来、歴史の観点からまちづくりについて考えてきました。郷土史会の会長として、古文書の講読会を定期的に開いていますが、合併後は吹上地域や川里地域の参加者が増えて、地域を越えたつながりが広がったことは、合併の良かった点の一つだと思います。

これからの鴻巣市には、良いアイデアを持った地元の人と協働して、それぞれの地域の特徴を活かしたイベント等を行い、郷土愛を大事にしたまちづくりを進めていってほしいです。



鴻巣郷土史会会長
波田野富信さん



鴻巣市長 並木 正年

未来へ飛翔 コウノトリと共に、 市民と歩む新しい鴻巣

平成17年10月1日に鴻巣市、吹上町、川里町の合併により新たな鴻巣市としてスタートしてから20年目を迎えました。これまで地域の拠点となる複合的な機能を備えた吹上支所および川里支所、市役所新館、市内3駅の駅前広場、花と音楽の館かわさと「花久の里」、北新宿生涯学習センター、三谷橋大間線などの整備、市内全域でのコミュニティバス「フラワー号」やデマンド交通の運行など、新市の一体性の確立と3地域の均衡ある発展に向けたまちづくりを重点的に進めてきました。

また、本市は、内閣府より令和5年5月に「SDGs未来都市」に選定され、同年8月に策定した「SDGs未来都市計画」により「人にも生きものにもやさしいコウノトリの里 こうのす」の実現に向け、持続可能なまちづくりに取り組んでいるところです。

そして、これまでの取組の成果と合併20周年を契機として、10月1日に本市の地名の由来の一つともいわれ、市民になじみが深く、幸せをもたらす存在として幅広く認知されている「コウノトリ」を市の鳥として制定しました。今後は、「コウノトリ」をシンボルとした新たなまちづくりをスタートしていきます。

合併20周年を機に、次の10年、20年に向かって、市民の皆さん一人ひとりが主役となり、しあわせと生きがいを感じられるウェルビーイングなまちづくりに向け、全力で取り組んでまいりますので、引き続き、市民の皆さんのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

安心して子育てできる環境

鴻巣市は、子育てサロンが充実していて、そこで出会った仲間とのつながりは、子育てをする上でとても心強いです。また、お祭りやイベントが多く、家族と一緒に参加すると、地域のつながりを自然と感じられます。

人とのつながりを大切に、安心して子育てできる環境がずっと続いてほしいです。



川口彩美さん・みなと君



鴻巣地区警察タクシー連絡協議会会長
長谷川タクシー 長谷川洋司さん

安心して利用できる交通を

市内では5社のタクシー会社が運行し、市民の移動を支えています。長谷川タクシーはエルミこうのす開店に合わせ事務所を移し、鴻巣駅前から交通状況や人々の往来を見守ってきました。デマンド交通も市民生活に根付き、便利さを実感いただいています。これからも人とのつながりを大切に、地域に寄り添いながら、市民が安心して利用できる交通を届けていきます。

自然と人のあたたかいまち

川里地域で生まれ育ち、小学生の頃はザリガニ釣りや田んぼで風揚げをしておびのび遊んでいました。今は、地元で祖母と母から受け継いだ美容室で働いています。髪をきれいにするだけでなく、憩いの場にもなっており、皆さんが笑顔で帰られる姿を見ると私も嬉しくなります。これからも自然と人のあたたかさあふれる、住みよいまちであって欲しいです。



木暮美容室
加藤麻乃さん

鴻巣市の鳥に制定

問合せ 総合政策課(内線2237)

制定にあたって

鴻巣市の地名の由来の一つともいわれ、市民になじみが深く、幸せをもたらす存在として幅広く認知されている「コウノトリ」。合併20周年を契機に、経済・社会・環境の3側面が調和した持続可能なまちづくりを推進するため、鴻巣市のまちづくりのシンボルとして、10月1日、「コウノトリ」を市の鳥に制定しました。



▲コウノトリ野生復帰センター「天空の里」

10月25日(土)・26日(日)入館料を無料!

市の鳥『コウノトリ』制定記念 at天空の里

こうのとりのマルシェ開催

会場 コウノトリ野生復帰センター「天空の里」

日時 10月26日(日) 10時～15時

- 内容**
- ・市の鳥制定記念横断幕のお披露目
 - ・市の鳥制定記念プロモーション動画のお披露目
 - ・市の鳥制定記念ガチャ
 - ・大阪関西万博出展SDGsブース体験
 - ・先着50人にコウノトリ関連のお菓子をプレゼント(10時～)
 - ・まちのコイン「ブーケ」プレゼント ほか
- ※裏表紙にも関連記事があります

プロモーション動画を上映

コウノトリを本市で飼育してから現在に至るまでのコウノトリの様子や、昔から関わりのあったコウノトリと本市のつながり、コウノトリをシンボルとして築いていくSDGs 未来都市としてのこれからについて、5分程度のプロモーション動画を上映します。ぜひご覧ください!



「鴻巣らしいお土産を」30年の想いが実を結んで

コウノトリ商品を作り始めて30年以上。『鴻巣らしいお土産を』との声に応えて生まれたお菓子は、多くの方に親しまれるようになりました。市の鳥に制定されたことを誇らしく思い、これからもコウノトリとともに、まちを盛り上げていきたいです。



サッシーのぐちさん

空と花が教えてくれる、日々の変化

空と花がエサを譲り合ったり、巣作りを工夫したりと、日々成長していく姿に心が動かされます。体調に気を配りながら愛情を込めて見守る日々は、自分にとって大切な時間です。市の鳥に制定された今、空と花の姿を通してコウノトリをより身近に感じてほしいです。



天空の里飼育員 清水宏員さん

コウノトリと
わたしたち
まちの人々に、市の鳥制定にあたっての気持ちやインスピレーションを伝えています。

10月1日、コウノトリを

コウノトリ制定 4つの理由

01

鴻巣の地名の由来の 1 つ こうのとりの伝説

鴻巣市と「コウノトリ」は古くから縁があり、市内にある鴻神社では、「コウノトリ」が産んだ卵を狙った大蛇を退治したことで、平和な日々が続いたとされている「こうのとりの伝説」が伝わり、一説では、地名の由来とも言われています。



02

まちなかにも コウノトリ

市内の様々な場所で「コウノトリ」にちなんだモノを見ることができ、市民の皆さんになじみ深いものとなっています。



03

コウノトリの飼育 「天空の里」オープン

令和3年10月に埼玉県こども動物自然公園から、国の特別天然記念物であるコウノトリを2羽譲り受け、飼育を開始しました。その後、オスは「空」メスは「花」の愛称で親しまれています。



04

持続可能なまちを目指して SDGs推進事業

令和5年8月に「人にも生きものにもやさしいコウノトリの里こうのす」を2030年の将来ビジョンとして掲げる「鴻巣市SDGs未来都市計画」を策定し、コウノトリをシンボルとしたSDGsのまちづくりを進めています。



日本の特別天然記念物

コウノトリの豆知識

コミュニケーション

成長したコウノトリは鳴けないので、上下のくちばしを「カタカタ」と叩き合わせてコミュニケーションをとります。



食事

ドジョウ、フナといった魚類をはじめ、カエル、バッタなどの多様な生き物をエサにします。1日に500gものエサを食べます。



【目】 周りが赤い

【くちばし】
黒色で長さは
21cm～25cm

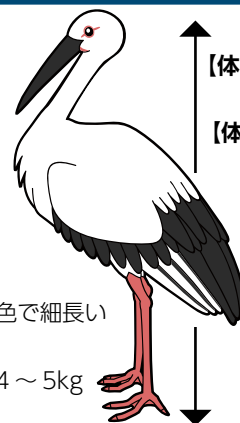
【足】 赤色で細長い

【体重】 4～5kg

【体長】 約110cm

【体】 全身はほぼ白色で
風切羽が黒い

【生態】
高い木の上に
直径2mほどの
巣をつくる



市民と育んだコウノトリの里

コウノトリが市の鳥に制定されたとき、胸が熱くなりました。地域の皆さんと力を合わせて環境を守り続けてきた歩みが、まちの誇りとして形になったことは大きな喜びです。これからも、人と自然が共に生きる鴻巣を目指して活動が続けていきたいと思います。



NPO法人鴻巣こうのとりの育む会

子どもたちが夢中になれるシンボル

家族でコウノトリを見に行った体験は、わが家の大切な思い出です。子どもたちも「たくさん見られて嬉しい」「とてもかわいい」と目を輝かせていました。コウノトリのイメージにちなんで、子育て世代に寄り添ったやさしいまちになってほしいと思います。



前原さんご家族